

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 年 月 日			
所属学部・研究科	文学研究科 1 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	トゥールーズ・ジャンジョレス第二大学 (国名: フランス)			
所属学部・学科等名	外国語学科			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 26 年 9 月 22 日 ~ 平成 27 年 6 月 18 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	<p>ビザの種類: 学生ビザ</p> <p>ビザ申請先: 在日フランス大使館</p> <p>取得方法, 提出書類: CampusFrance という機関で、オンライン申請 (身分、語学能力、交換留学資格の有無など。) →東京の在日フランス大使館へ赴き、必要書類を提出→約 1 週間~2 週間後に郵送でビザが届く</p> <p>手続きに要した日数: 1 カ月</p>			
その他必要な事前手続き	奨学金の有無に関わらず、ビザ申請の際に約 100 万円ほどの貯金 (留学費用) があることの経済証明が必要になります。			
出国年月日	平成 26 年 9 月 3 日			
経路	福岡→アムステルダム→パリ→トゥールーズ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	HUSA のような交換留学生を集めたオリエンテーションが約 1 週間ありました。授業登録などの手続き方法や、大学施設の利用方法、学生団体の説明などが、フランス語の回と英語の回に分けてありました。			
帰国年月日	平成 26 年 6 月 19 日			
経路	トゥールーズ→アムステルダム→福岡			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	約 90 万	円	
	内訳	渡航費	約 16 万	円
		保険料	約 10 万	円
		教科書代(学費)	約 1 万	円
		宿舍費	約 30 万	円
		食費	約 8 万	円
		その他 ( 旅行 費)	約 20 万	円
( 携帯電話費)	約 2 万	円		
( 費)		円		
<b>3. 授業について</b>				
年 1 学期	9 月 22 日 ~	1 月 16 日		

年 2 学期	1 月 17 日 ~ 5 月 19 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	基本的に外国語学部付属の語学クラスに在籍し、任意で一般の授業にも参加できるという形式でした。語学クラスは、自分のいたレベルでは、ディスカッション、プレゼンテーション、文章作成など実践的な内容が多かったです。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	話すスピードが速く、授業が1コマ2時間もあるので、最初は全然理解できませんでした。録音したりして復習できるようにしておくことをお勧めします。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 9 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 294€/219€(現地通貨) 約 4万3万円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	最初は294€/月でしたが、11月にOFIIという手続きを済ませると、CAFという住居手当に申請できるようになります。このおかげで219€/月まで減額されました。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 10万円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院に行かなかったので詳しいことは分かりませんが、至る所に薬局があり、日本のものに比べ効果が強めな薬が売られています。

留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	特別何かに注意するということはありませんでした。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
アラブ系の移民の居住区は危ないといわれていました。また、滞在中にパリでテロがあったので、その後しばらくは街中に銃を持った兵隊がいて、いつ何が起ころうともおかしくないぞ、という緊張状態でした。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
トゥールーズは交通費が非常に安く、学生だと 10€/月で地下鉄・バス・トラムが乗り放題でした。日本的なものがすごく好まれるので、和食をふるまう機会が何度もあったのですが、アジアンマーケットで基本的な料をそろえることができました。日本米はフランスではデザート用米として売られています。炊飯器がなくても鍋炊きで十分です。留学開始の9月後半～10月中旬までは、真夏のような暑さでとても乾燥していました。夏服も持って行っておいたほうがいいと思います。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 28 年 9 月 (当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	現在は修論作成、年末からの就職活動準備、語学検定の勉強、インターンシップ探しを主に行っています。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	修士は卒業に必要な単位数が多くないので、留学前の MI 前期でとれるだけの単位を取っておきました。結果的に卒業を半年遅らせることになりましたが、余裕ができていいと思います。	
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細 (出版社、URL 等)	コメント
(経験者のブログ)	「フランス 交換留学」で検索	特にビザ申請のアドバイスが参考になりました。
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
私は授業が思ったより大変で苦労しましたが、語学能力にまだ自信がなくてもどんどん発言する姿勢を見せたほうが友達がたくさんできます。そうしているうちに気づけば自分も話せるようになっていたので、臆病にならず積極的にいろんな人と関わっていくといいと思います。また、私は留学後期から AIESEC という学生団体に所属することになったのですが、そこで他大学や他機関の学生や、現地の企業と関わる機会に恵まれました。ぜひ、授業以外の活動もしてみてください！		

## 広島大学短期交換留学（HUSA）2014-2015 学習の概要に関するレポート

私は全5段階ある語学クラスのうち、レベル4に配属されました。1～3までは文法や会話などの基礎クラスでしたが、4・5はディスカッションやプレゼンテーション、小論文作成などの実践内容で、クラスメイトはすでにフランス語を流暢に操れるひとばかりでした。そんな中で私は、教授の言うことも半分理解できているかいないかという状態だったので毎日とても大変で、授業を録音して寮で家事をしながら何度も聞いたり、積極的にクラスメイトに話しかけて友達を作ったりして、なんとかついていけるようにしようと必死でした。幸い、クラスメイトやフランス人の友達に恵まれ、授業後や週末に勉強を手伝ってもらうことで少しずつ慣れていくのを実感していました。HUSAのような交換留学プログラムで来ている人たちは、最初にお互いに知り合う機会が設けられていたので、クラスやレベルの異なる様々な学生と事前に知り合せて置けたのは非常に助かりました。

主な授業は、文学作品の数ページを読んで、その中からテーマを3つ選び、その点についてグループで話し合ってから発表をするというもの、自分が選んだ文学作品についてテーマに沿ったプレゼンテーションをするもの、新聞記事やコラムの分析をしてレジュメを作り、より簡潔に書き直すという文章作成の方法を身に付けるもの、フランスの文化について講義を聴き学期末に自分の選んだテーマでプレゼンテーションをするものなどがありました。一番初めの授業からいきなり発表で、そこでうまく話せず非常に悔しい思いをしました。そこで翌週から友人たちの助けを借りて十分に予習をし、ある程度授業内容を知ったうえで受講するとずいぶん理解できるようになっていました。その結果、前期の試験ではあまりよくない出来でしたが、後期では努力した分だけの成果が出ていました。前期の間は授業についていくので精いっぱい、自分にはこのクラスは無理なんじゃないかと思っただけでも何度もありましたが、あきらめずに続けて本当に良かったと思っています。

また、私が留学していた学校には日本語学科があったので、そこでの日本語の会話の授業に参加したり、外国人の視点から教えられる日本史の授業に参加してみるということもしました。現地の人の日本へのイメージや関心が、自分の認識と違っていたり、また自分たちでは気づかなかったような点を私たち特有の性質だと授業内で教えられていたのを見聞きするのは非常に興味深かったです。

授業外の学習としては、毎朝通学に使っていた地下鉄の駅で配られている新聞を読んで興味のある記事を1つ精読したり、部屋にいるときはラジオをつけてニュースを聞いたりしていました。なかなか初めはラジオの話すスピードで理解するのは難しかったですが、同じ内容を20分おきくらいに何度か繰り返して報道しているので、2回3回と聞いていくうちにだんだんと分かるようになっていきました。また、地下鉄の中や街中で聞く会話で、気になったフレーズをメモに取っておき、あとで友達に聞くということもしていました。日常生活のすべてが、学習となっていたと思っています。

## 広島大学短期交換留学（HUSA）2014-2015

### 生活の概要に関するレポート

私が滞在していた街は「学生にとっても優しい街」であるといわれていました。月々の交通費は、地下鉄とバスの共通カードが1カ月10€（約1400円）で乗り放題で、レストランやファーストフード店、映画館などでの学割やスペシャルオファーがたくさんありました。私は広島では自宅生なので、これが初めての一人暮らしだったのですが、寮のすぐ近くにスーパーがあり、食材が日本に比べ安いので、いろいろな料理を作ることが楽しくて家事は苦になりませんでした。また、住んでいたところが寮だったので、近くに友達がたくさんいて、夜に部屋へ遊びに行ったり、一緒に勉強したり、スポーツしたりと非常に楽しく過ごすことができました。思ったよりも快適で、寮に関して苦労したことは特になかったと思います。私がいた棟は改装されたばかりで、私たちの代が初めての入寮者だったため、非常にきれいで設備が整っていたことも幸運だったと思います。

街は大きすぎず小さすぎず、繁華街がコンパクトにまとまっているため便利でした。ガロンヌという大きな河沿いに広い公園があり、そこで本を読んだり友達とゆっくり過ごすことが多かったです。フランスは日曜日はほとんどの商業施設が閉まっているため、このように公園でのんびり過ごすことが習慣となっており、日本の忙しい週末しか知らなかった私には非常に新鮮に感じられました。

また、日本では経験したことのない事として、滞在中にパリでテロがあり、国際問題での身の危険を実際に感じた、ということがありました。この件に関しては、フランス国民も「表現の自由」を守るという名目で過激な言動をしていた部分もあり、外国から来た私は、国内にいながら第三者の目線で見ることとなり、国際問題（とくに移民）について初めてじっくり考える機会となりました。

留学の後半からは、他キャンパスの友人に誘われて、AIESEC という国際学生団体に所属していました。現地の企業と交渉をして契約を結び、外国からのインターン生を受け入れることと、他国の AIESEC 支部と連絡を取りインターン生の候補者を募ることが主な役割でした。短い期間でしたが、フランスの企業に触れる機会を持てたこと、英語やフランス語での交渉の仕方を学べたこと、そして優秀な学生たちとチームとして活動できたことは非常に貴重な経験だったと思います。

生活に関しては、買い物の仕方や週末の時間の使い方などの個人的な差異の体験もですが、いろんな国籍を持つ人が混在する「移民国家」であるフランスで生活することで、今まで日本ではどこか他人事のように思っていたかもしれない人種差別や国際関係の緊張を実感することができた点が、強く印象に残っています。